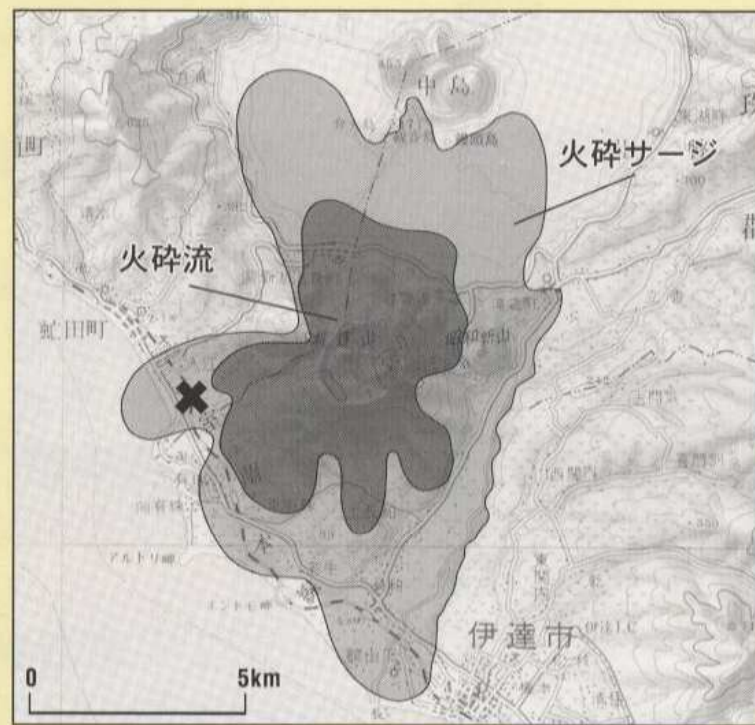


有珠山のこれまでの噴火

有珠山は、長い休止期間の後に噴火活動を再開した1663年噴火から2000年の噴火まで、8回の噴火を繰り返してきました。そして、噴火の場所や規模、災害の種類も色々な場合がありました。たとえば、有史最大の火砕流といわれる文政の噴火では、山頂で発生した火砕流・火砕サージが全方向に広く拡がりました。昭和新山のような山麓噴火の場合でも火砕サージが発生し、その範囲は幅1.5km程度でした。また、降灰の分布も噴出物の量や気象の状況によって変化しています。



文政火砕流(1822年)の分布 ×印は当時のアプタ
【勝井(1988)「有珠山の噴火予測・災害予測および防災の問題」より】

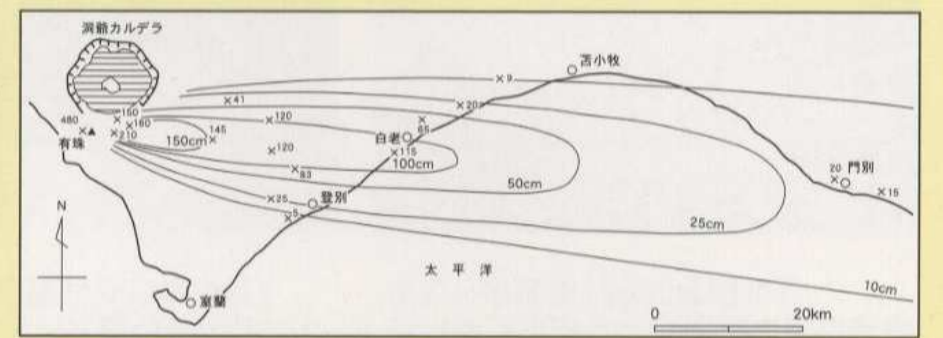


昭和新山火砕サージ(1944年)の分布
【三松(1993)「昭和新山生成日記・復刻増補版」より推定】

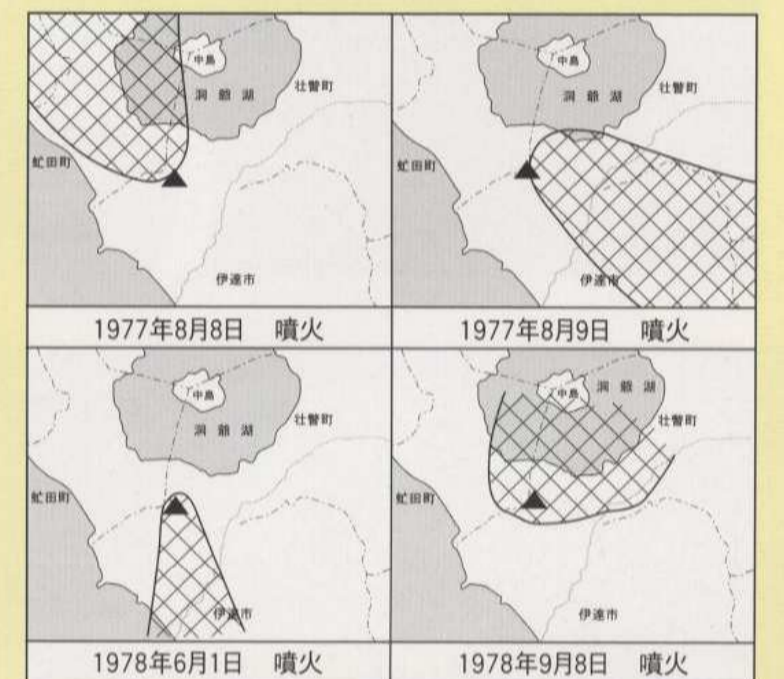
●有珠山の噴火史

期	年代	休止期間	前兆地震継続期間	噴火地点	噴出物など	生じた山体	災害その他
外輪山形成期	1.5万年-2万年前			山頂	有珠外輪山溶岩	成層火山	
	7,000-8,000年前			東麓	ドンコロ山スコリア	ドンコロ山スコリア丘	
				山頂	善光寺岩屑なだれ	外輪山(山体崩壊)	流れ山地形、津波
休止		数千年					
新期活動	1663(寛文3)	106年	3日	山頂	降下軽石 降下火山灰・火砕サージ	小有珠溶岩ドーム	多量の火砕物降下で家屋埋積・焼失・死者5名
	1769年(明和5)	52年	地震発生期間不明	山頂	降下軽石・火山灰 明和火砕流	?	火砕流で南東麓の家屋火災
	1822(文政5)	31年	3日	山頂	降下軽石・火山灰 文政火砕流	オガリ山潜在ドーム	火砕流で南西麓の1集落全焼、死者82名、負傷者多数、集落移転
	1853(嘉永6)	57年	10日	山頂	降下軽石・火山灰 嘉永火砕流	大有珠溶岩ドーム	住民避難、赤く光るドーム出現
	1910(明治43)	33年	6日	北麓	降下火山灰 火口噴出型熱泥流	明治新山潜在ドーム	火砕物降下で山林・耕地に被害、火口噴出型熱泥流で死者1名
	1943-45(昭和18-20)	32年	6ヶ月	東麓	降下火山灰・火砕サージ	昭和新山溶岩ドーム	火砕物降下・地殻変動で災害、幼児1名窒息死
	1977-78(昭和52-53)	22年	約32時間	山頂	降下軽石・火山灰 降雨型泥流・火砕サージ	有珠新山潜在ドーム	火砕物降下・地殻変動・泥流で市街地・耕地・山林等に被害、降雨型泥流で死者・行方不明者3名
	2000(平成12)		約4日	西麓	降下軽石・火山灰 火口噴出型熱泥流 火砕サージ	潜在ドーム	地殻変動、火口噴出型熱泥流、噴石により国道230号、道央道、鉄道、市街地建物に被害、死者・負傷者なし

*参考文献:勝井(1988)「有珠山の噴火予測・災害予測および防災の問題」、曾屋ほか(1981)「有珠火山地質図」、大臼山焼崩日記



寛文噴火(1663年)で積もった火山灰(軽石)の厚さ
【大場・近堂(1964)「有珠火山の降下軽石堆積物について」より】



昭和52~53年(1977~78年)噴火の降灰分布の例
【勝井ほか(1978)および新井田ほか(1980)の文献による】

有珠山の噴火と避難のポイント



2000年噴火は山麓で発生しました。幸いにも今回の噴火では火砕流による大きな被害はありませんでしたが、「山麓噴火」でも被害が人家までおよぶような火砕流が発生する可能性があります。また、噴火口が次々と移動することが起こります。

洞爺湖岸周辺や水中(湖底)で噴火が起こった場合、マグマが水と接触して激しい爆発が起きて、火砕サージが発生することもあります。

有珠山での地震多発は必ず噴火につながると考えて、早めに避難の準備をすることが大事です。役場からの正しい情報と指示を聞いてください。避難が遅くなると車が渋滞することがあります。



お年寄りや赤ちゃん、体の不自由な方は、みんなで協力して先に避難させてあげることが必要ですね。

避難生活が長くなることを考えて、農作物や家畜、ペットのことも考えておかないといけないわね。



学校や病院、福祉施設では、教材やカルテなどの持ち出しのことも日頃から考えておかないと。



大きな噴火になったら、避難場所から別の安全な避難場所に移ることもあるのね。身元を確認するカードなどを作ることも必要ね。

インターネットなどを活用して、多くの人により多くの正確な情報を流すことも重要ですね。



日頃から防災訓練をしっかりやって、いざというときに、みんなが自分のとるべき行動を身に付けておくことが大切です。



わたしたちも有珠山のこともっと勉強しなくちゃ。



有珠山火山防災マップについてのお問い合わせ先

- 伊達市/防災対策室.....☎0142-23-3331
- 虻田町/有珠山噴火災害復興対策室...☎0142-76-2121
- 壮瞥町/総務課.....☎0142-66-2121

- 豊浦町/企画調整課...☎0142-83-2121
- 洞爺村/総務課.....☎0142-82-5111

平成14年2月作成

監修 北海道防災会議地震火山対策部会火山対策専門委員会
製作 国際航業株式会社

写真提供:宇井忠英・三松正夫記念館・大森房吉・岩村専太郎・北海道・国際航業(株)